

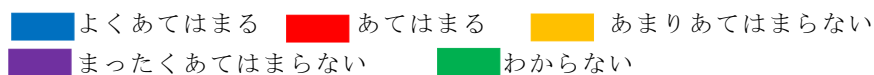
令和4年度 中央区立佃中学校 自己評価報告書

校長名：志村昌孝

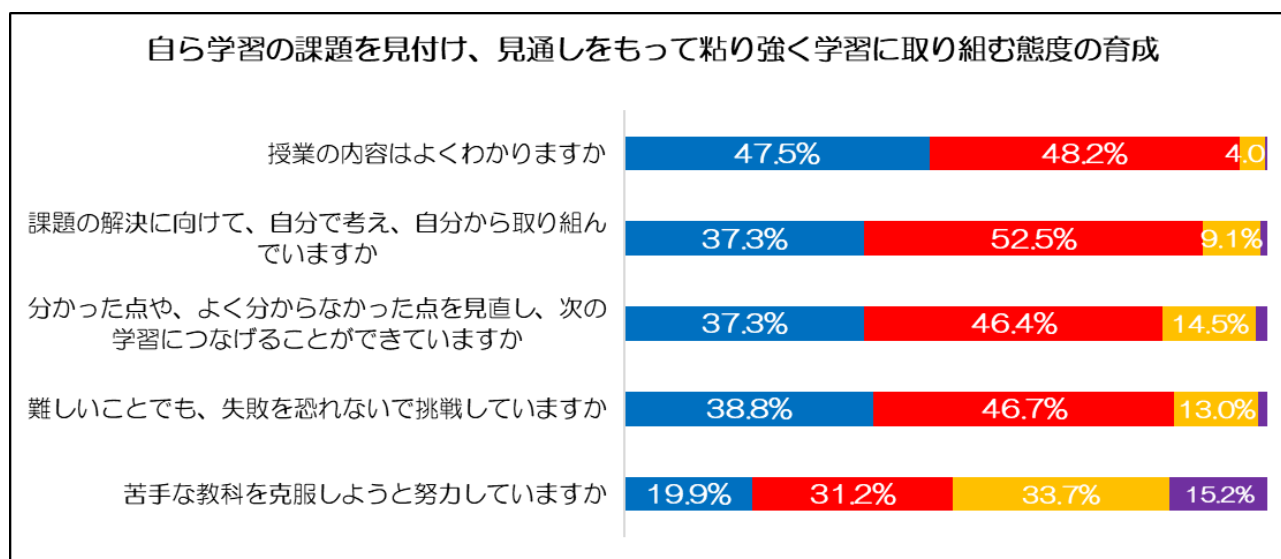
所在地：東京都中央区佃2-3-2

生徒数：335名 学級数：10 教員数：20名 職員数：45名

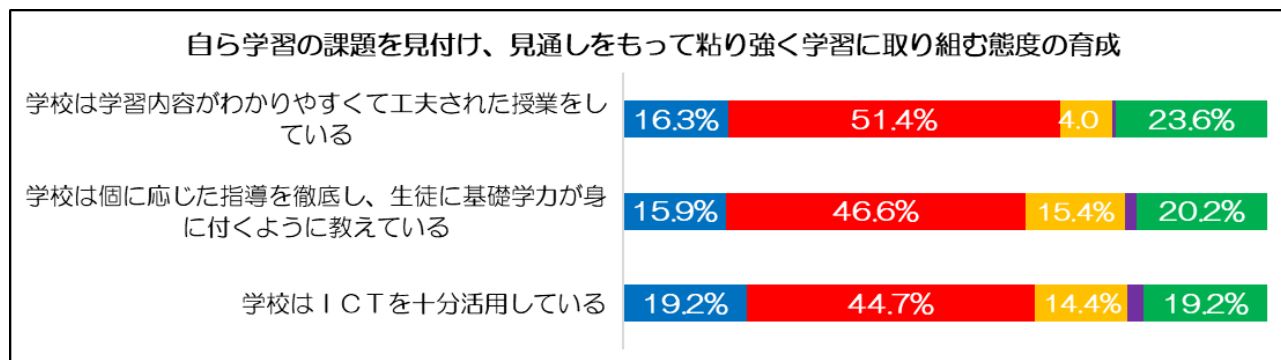
1 重点目標の達成状況及び取組状況



【重点目標1 自らの学習課題を見付け、見通しをもって粘り強く学習に取り組む態度】
 <生徒アンケート>



<保護者アンケート>



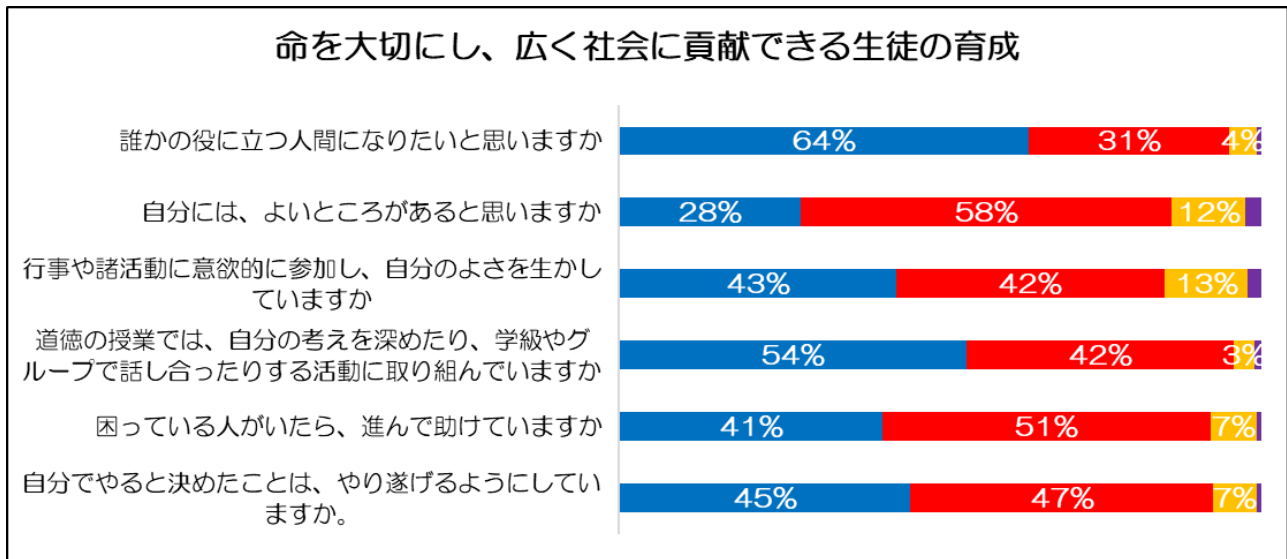
<重点目標1について>

生徒アンケート「授業の内容はよくわかりますか」の項目の肯定的な回答が95.7%であった。保護者アンケート「学習内容がわかりやすく工夫された授業をしている」の項目の肯定的な回答が67.7%であり、否定的な回答は4.5%であった。これまで生徒をよく理解し、生徒の実態に応じたわかる授業づくりに努めてきた。さらにわかる授業の充実に努めていきたい。

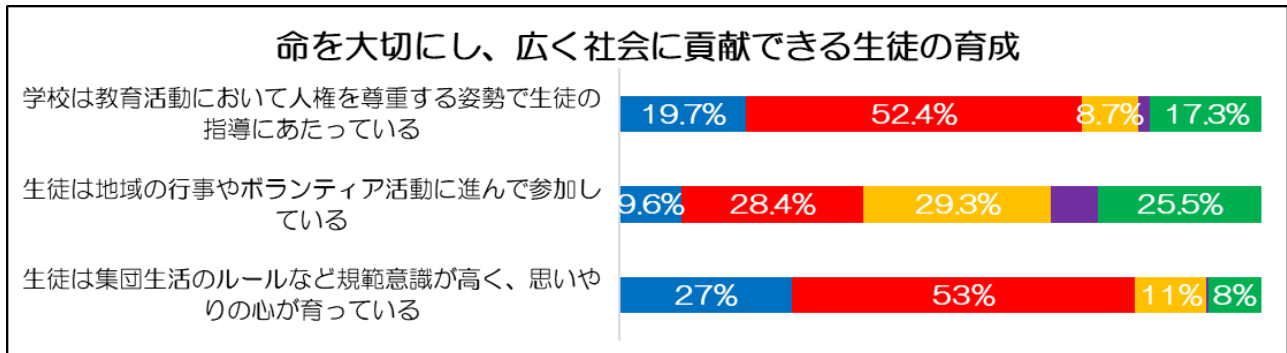
また、生徒アンケート「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいるか」「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦しているか」の項目は、肯定的な回答がそれぞれ89.8%、85.5%であった。一方、「苦手な教科を克服しようと努力していますか」の項目では、肯定的な回答が51.1%であった。苦手なことにも立ち向かっていく態度を育成していくことが必要であると考えます。

【重点目標 2 命を大切にし、広く社会に貢献できる生徒の育成】

<生徒アンケート>



<保護者アンケート>



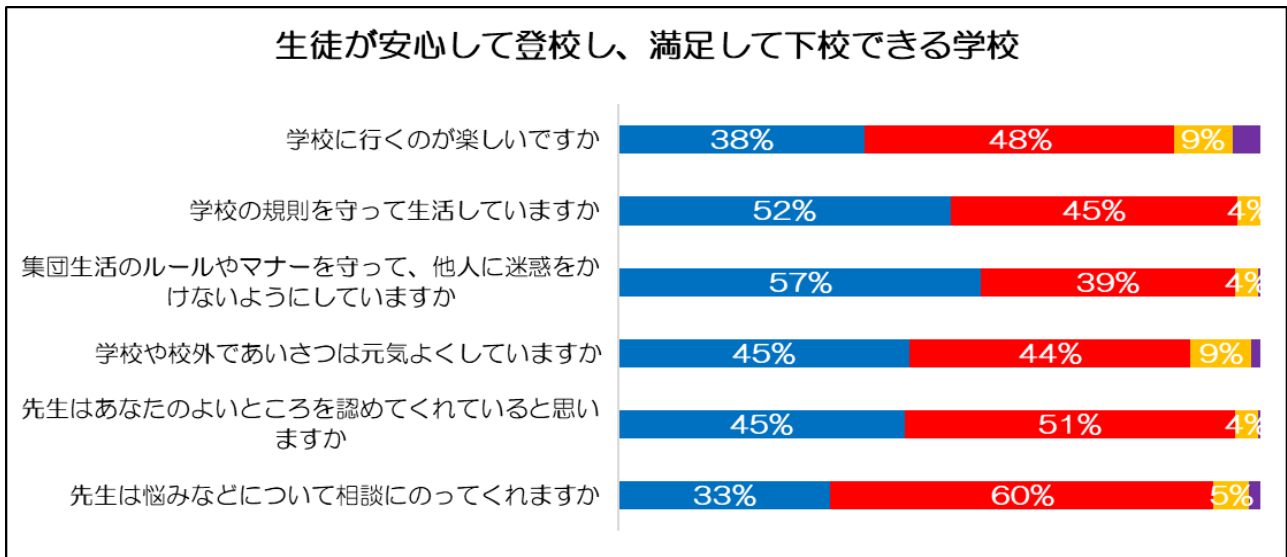
<重点目標 2 について>

生徒アンケート「誰かの役に立つ人間になりたいと思いますか」「困っている人がいたら、進んで助けていますか」の項目で、肯定的な回答がそれぞれ 95%、92%であった。また、「自分には、よいところがあると思いますか」「自分の良さを生かしていますか」の項目で、肯定的な回答がそれぞれ 86%、85%であった。今後も行事や諸活動で、生徒の活躍の場を確保し、生徒の自己肯定感を高めていくことを大切にしていきたい。さらに学校内での活動にとどまらず、地域の行事やボランティア活動に参加することで、地域社会に貢献する生徒の育成に努めていきたい。

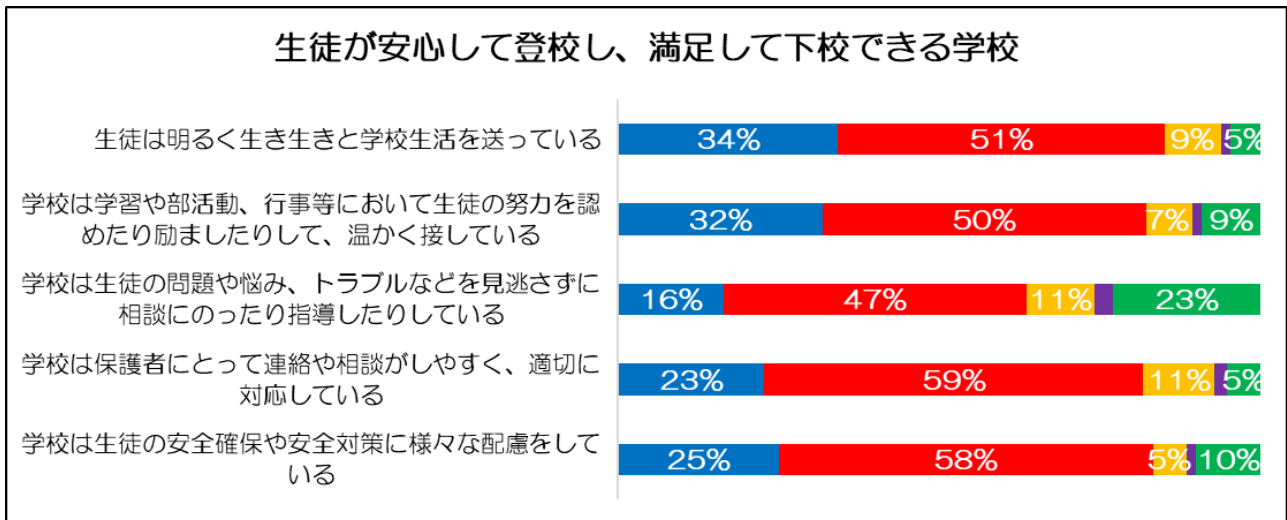
保護者アンケート「人権を尊重する姿勢で生徒の指導にあたっている」「ルールなど規範意識が高く、思いやりの心が育っている」の項目で、肯定的な回答がそれぞれ 72.1%、80%であった。保護者の期待や信頼に応えられるよう、今後も人権教育を重視し、規範意識を育むとともに、生徒の豊かな心の育成に努めていきたい。

【重点目標3 生徒が安心して登校し、満足して下校できる学校】

＜生徒アンケート＞



＜保護者アンケート＞



＜重点目標3について＞

生徒アンケート「学校に行くのが楽しい」の項目で、肯定的な回答が86%であるものの、否定的な回答の生徒も少数だが存在している。すべての生徒が学校に楽しく登校し、満足して下校できるよう教育活動の充実を図っていきたい。

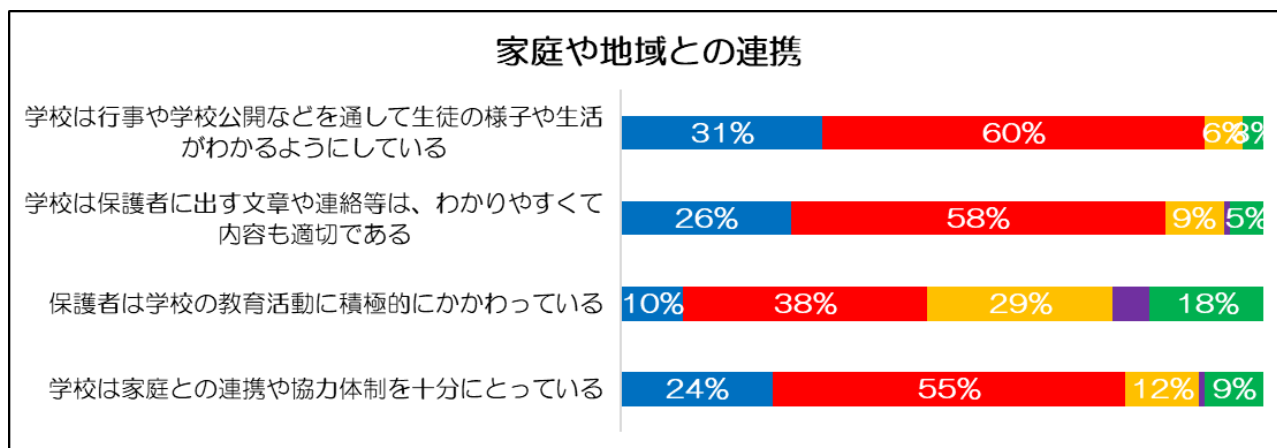
また、「学校の規則」「集団生活のルールやマナー」に関する項目では、肯定的な回答が90%を超えることから、生徒は学校の規則やルールを守り、他人に迷惑をかけないよう意識した学校生活を過ごしていることがわかる。

さらに、「生徒と教員との関係」に関する項目で肯定的な回答が高いことから、生徒と教員との関係性も比較的よいと考えられる。

今後も、生徒との信頼関係を構築しながら、生徒が安心して学校生活を送れるよう努めていきたい。保護者にとっても、教員と連絡や相談がしやすい関係性をつくっていくことで、家庭と学校との連携を強化し、生徒の健全育成を進めていきたい。

2 重点目標以外の自己評価における達成状況及び取組状況

<保護者アンケート>



保護者アンケート「行事や学校公開などを通して生徒の様子や生活が分かるようにしている」の項目で、肯定的な回答が91%であった。また、「保護者に出す文章や連絡等は、わかりやすくても内容も適切である」の項目では、84%であった。引き続き学校での生徒の活動が保護者によくわかるよう、情報の発信に積極的に努めていきたい。

一方、「保護者は学校の教育活動に積極的にかかわっている」の項目は、肯定的な回答が48%であった。学校の教育活動に保護者がかかわる機会をつくったり、保護者がかかわっているという意識がもてたりできるよう、保護者の視点に配慮した教育活動を工夫していきたい。

3 今後の改善方策

- ・ 苦手なことにも挑戦できる強い意志と自信をもった生徒の育成を目指し、自分の考えを集団の中で伝えるなど、校内研究・研修を通して質の高い授業力を高め、すべての教科で対話的な学習を重視していく。
- ・ 様々な学力調査に関する結果等を分析し、個々の発達段階や小中学校の学びの連続性を重視して個に応じたきめ細かな指導を行う。
- ・ 校内や地域のボランティア活動に積極的に参加させ、生徒の自主的・自発的な活動を通して自己肯定感を高める。
- ・ 学校だよりや学校ホームページをはじめ、保護者との連絡ツール(tetoru)を活用し、保護者との連携を強化する。